

C⁴D システムと Agilent 7100 CE との接続方法

このアプリケーションノートでは、eDAQ C⁴D システムと Agilent 7100 CE 装置との接続方法を説明します。

はじめに

eDAQ C⁴D システムと Agilent 7100 CE 装置との接続は簡単です。



Agilent 7100 CE 装置

Agilent のカートリッジに C⁴D ヘッドステージを取り付ける

C⁴D ヘッドステージを Agilent CE のカートリッジの中に取り付けるのは簡単です。C⁴D ヘッドステージの側面のチャンネルにキャピラリーを通して固定するだけで OK です。



Agilent のカートリッジに C⁴D ヘッドステージを取り付けた写真。円形で銀色の UV 検出器のセルも映っています。

収録ソフトウェアを選択

C⁴D と UV-VIS 検出器からの両データは、eDAQ ソフトウェアか Agilent ChemStation ソフトウェアを使ってリアルタイムで表示できます。

使用するソフトウェア:

- ER225 C⁴D データシステムで eDAQ ソフトウェアを使う場合は、UV-VIS 検出器 (CE の) からのアナログ信号出力を eDAQ システムに接続すれば、eDAQ ソフトウェアで両検出器からのデータが記録できます。
- ER125 C⁴D 検出器で Agilent ChemStation ソフトウェアを使う場合は、C⁴D からのアナログ出力を Agilent CE に接続し、ChemStation ソフトウェアで両検出器からのデータを記録します。

トリガーケーブル

トリガーケーブルで Agilent CE 装置と eDAQ データシステムのハードユニットとを接続します。これで CE 装置で eDAQ ソフトウェアをトリガーし記録を開始します。

